

埼玉岳連

埼玉県山岳連盟
埼玉岳連報 第23号

発行者 田中 文男
発行所 埼玉岳連事務所 福田靖方
〒369-0303
埼玉県児玉郡上里忍保1590
編集人 広報委員会 岩井田 正昭
発行部数 1600部



開式の挨拶 埼玉県山岳連盟 田中会長

お礼の言葉

埼玉県山岳連盟会長 田中文男

大勢の方々の支えによって、埼玉県山岳連盟は創立五十周年を迎えることができました。

これまで賜りましたご支援、ご協力を改めて心からお礼申し上げます。

さて、ご存知のように、昨年、私共は第五十九回国民体育大会山岳競技会を主管させていただきました。この準備のため、加盟する全ての団体が、ここ数年、多くのエネルギーを注いでまいりました。

お陰様で国民体育大会は大成のうちに終了することができましたが、気がつく、本年は連盟創立五十周年という節目の年にあたっております。

正直なところ準備不足は十分承知の上で、勢いのおもむくまま、本宴を開催させて頂きました。

ごく身近でお世話になっている方々と、山仲間のみにご案内を差上げましたところ、会場の定員を上回る多数の方々がご出席頂けることになりました。

色々と不行届きな点多いかと存じますが事情ご推察の上お許し下さい。

終わりに、年末間近にもかかわらずご出席くださいました宮田埼玉県体育協会会長をはじめ、県ご当局、日本山岳協会幹部の方々、近隣山岳連盟の会長さん他幹部の方々、そして開催のため協力してくれた、わが埼玉県山岳連盟に加盟するすべての皆さんに心からお礼申し上げます。

今後共、私共埼玉県山岳連盟のために、更に登山発展のために、お力をお貸しくださることをお願いもうしあげます。

本当にありがとうございました。

【埼玉県山岳連盟】

創立50周年記念式典開催される

平成17年11月19日(土) 午後3時
浦和ロイヤルパインズホテル

敬称略

県岳連・創立50周年記念パーティが開催されました。
総合同会：加藤事務局長、アシスタント：鈴木(遠峰)

第一部・記念式典

埼玉岳連・武井副会長より開式の挨拶のあと、主催者を代表し、県岳連・田中会長の挨拶。続いて、埼玉岳連50周年を記念し、多年のご協力とご指導に感謝し、田中会長から、感謝状と記念品の贈呈が行われた。

感謝状授与者を代表して県岳連・浅見名誉会長より、御礼の言葉と今日に至る県岳連創立時からの小史をお話された。

感謝状授与者は、浅見豊(名誉会長、清水武司(元会長、清水武甲(ご子息)、武永昇(県警山岳救助隊長)、飯田雅彦(同副隊長)、茂木章(初代県警山岳救助隊長)、井上守司、野井篤、北千恵吉、井古田忠男、北田紘一、新井宏司、大野好司(参与)、尾崎正義(元理事長)、大野幾雄(元事務局長)、新井信太郎(雲取山荘)、山中徳治(甲武信小屋)、佐藤豊、丸橋朋子(国体監督・元選手)。

祝辞を坂口三郎・日山協顧問(前会長)、片庭直・加須市教育長より賜り、橋本龍太郎衆議院議員、上田県知事等の祝電が披露された。

第一部閉式の挨拶を県岳連・中田副会長より行い、式典は終了した。

第二部・祝賀会

田中会長の御礼挨拶の後、日山協・城副会長、関東岳連代表(都岳連) 森谷会長、県警山岳救助隊・飯田副隊長のご祝辞を戴いたあと、県岳連50年の足跡(ダイジェスト版)を、ビデオプロジェクターを使用し写真説明を交えて、森下副会長、小沢理事によって行われた。

乾杯の音頭を日山協・坂場副会長・高室顧問にて行い、乾杯後、歓談となった。

余興に小鹿野太鼓連合による勇壮な小鹿野囃子が演奏され会場を盛り上げた。その後、参加者のご紹介とスピーチが行われた。

祝賀会の締め音頭を、日山協・八木原専務理事と県岳連・尾崎参与、県岳連・福田理事長により盛大な三本締めにて幕を閉めた。

閉会の挨拶を50周年記念実行委員会の牧野委員長より行い無事に全式典は終了した。

全参加者に記念品として、記念誌編集委員会にて編集された創立50周年記念誌「50年の歩みと仲間たち」、及び、山岳カレンダーをお持ちいただき散会した。

文責 岩井田

御出席戴いた方は以下の方々

【県・市 体育 関係】

加須市教育長

・片庭 直

加須市体育課

・野本 政之

埼玉県教育局指導部体育課指導主事

・柳川 典昭

【日本山岳協会 関係】

日本山岳協会

顧問

・坂口 三郎

日本ヒマラヤ協会

顧問

・高室 陽二郎

日本ロープレスキュー

会長

・酒井 国光

日本山岳協会

代表

・堤 信夫

日本山岳協会

副会長

・城 隆嗣

日本山岳協会

副会長

・坂場 昭雄

日本山岳協会

専務理事

・八木原 啓明

日本山岳協会

常務理事

・森川 洋佑

日本山岳協会

常務理事

・相良 忠麿

日本山岳協会

常務理事

・牧野 龍峰

日本山岳協会

常務理事

・西内 博

日本山岳協会

常務理事

・小野寺 齊

日本山岳協会

常務理事

・若月 東兒

新潟県山岳協会

会長

・橋本 正巳

東京都山岳連盟

会長

・森谷 重二朗

副会長

・瀧島 清

事務局長

・本木 總子

会長

・小村 守志

群馬県山岳連盟

会長

・星野 光

理事長

・佐藤 光由

常任理事

・剣持 典之

常任理事

・阿部 源

理事

・町田 幸男

理事

・太田 忠行

理事

・松田 龍彦

千葉県山岳連盟

会長

・盛 晋

前会長

・横元 明

神奈川県山岳連盟

会長

・山本 芳夫

理事長

・水島 彰治

山梨県山岳連盟

会長

・内藤 順造

茨城県山岳連盟

副会長

・二階堂 章信

副会長

・是枝 正國

副会長

・小森 栄治

顧問

・荒木 浩二

副理事長

・白石 忠男

会長

・柳澤 昭夫

長野県山岳協会

顧問

・小山 峰男

前会長

・松田 美宏

矢沢 裕子

・中沢 芳子

原山 幹雄

元連対常任委員会委員

・城所 邦夫

・金沢 鉄造

・近藤 善弘

埼玉新聞社

編集長

・田山 勝

「山と溪谷」

・萩原 浩司

大塚製薬株式会社

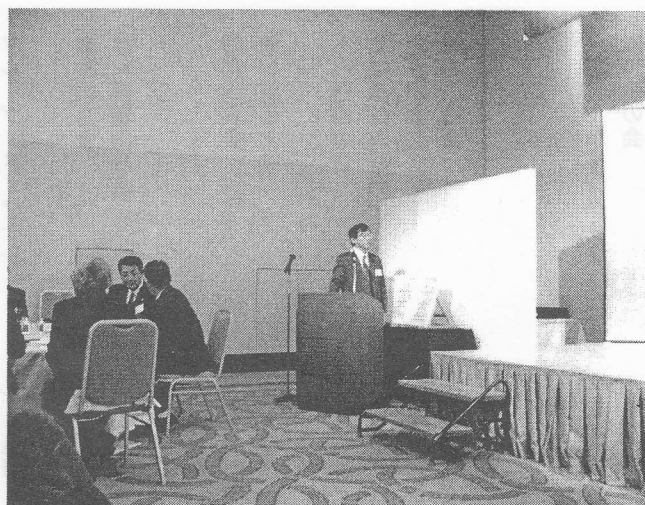
・青柳 史成

ICI石井スポーツ太田高林店

・森 治男



予定を上回る会場はまもなく開式



総会司会の加藤事務局長



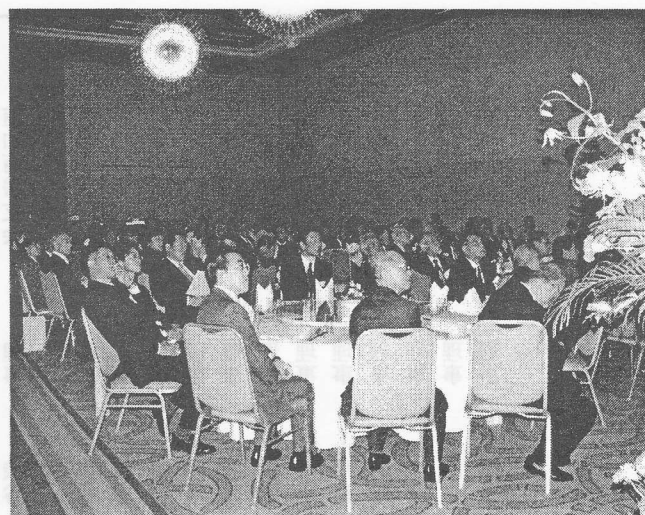
感謝状贈呈、代表して浅見名誉会長のご挨拶



日山協・城副会長よりご祝辞を賜る



50年の歩みをプロジェクターにて説明する森下副会長、小澤理事



満員となった会場で映像を見入る参加者



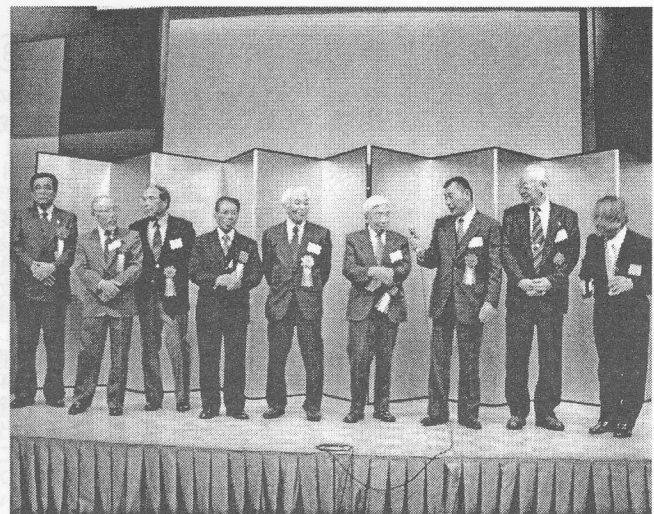
ダイナミックな小鹿野太鼓を演奏《小鹿野太鼓連合》



歓談中・右側より元長山協会会長松田氏、日山協・坂場副会長



尾崎参与と歓談する森下副会長、右側・浅見名誉会長



関東岳連・各会長の自己紹介を戴く



左から、飯塚、福島、森谷、八木原の各諸氏



締めめの挨拶を福田理事長

平成17年12月【常任理事会 報告】

12月13日(火)午後7時30分～北本市文化センター
理事会出席者：森下・中田・福田・村岡・加藤・岩井田・
長谷川・大倉・山口・天野・小沢・小茂田

1：開会挨拶 (中田副会長)

2：挨拶 (福田理事長)

3：報告

(1) 冬山リーダー会議・開催(レスキュー講習会)

遭難対策委員会・瀬藤委員長・恵講師

県活動センター・12月10日～11日

10日50名・恵講師・救急講習会他

11日57名・県警山岳救助隊飯田副隊長・講演

(2) 県体クライミング大会・開催

クライミング委員長・森下委員長

12月22日・37名の参加・キッズの参加多数

4：協議

(1) 関東地区クライミング大会(1月22日)

後援他について「後援」を理事会承認。

・担当責任者：村岡企画委員長、

補助Ⅱ加須市山岳連盟・群馬岳連と良く連携をとる

・選手派遣の責任者は、大倉クライミング委員長

クライミング委員会と選手強化で選手の選考・8名

(2) 関東地区山岳連盟連絡協議会

2月25日～26日

東京国立オリンピック記念青少年総合センター

・派遣役員↓田中会長、中田・森下副会長、

・提案、協議事項について

・ボルダリング競技の普及と大会についてどうするか

(3) 日山協・「国際大会への選手の派遣について」

・県岳連に連絡が来たのが初めてであり今後とも日山協

より、県岳連に連絡するよう要望する。

・何らかの応援をしたい(理事長)

(4) 50周年記念式典・祝賀会・記念誌発行の報告

・祝賀会の146名の参加。会計は別途資料(途中)

・未請求分の連絡を早急にお願。

・記念誌の事後処理(発送計画)と会計等、80部の
増刷。今月中に発送予定。

各県へは2月の日山協評議員総会にて配布したい

(5) 50周年記念海外登山実行委員会の活動

・資金的援助活動の支援について

・Tシャツの販売協力をお願い。2000円で販売。

・トレッキング隊の編成(10日間程度)

①7月14日の後発隊と同時期

②8月お盆の時期。

(6) 茨城岳連創立50周年記念祝賀会について

・平成18年2月5日(日)午後1時～4時

茨城県立県民文化センター(水戸市)

・参加者 田中会長、副会長、福田理事長、岩井田、

山口、柳下(自然保護)他・12月末締切

(7) 理事新年会の開催について

・日時：1月20日(金)午後7時～

会場：まつ本(北本市北本1の72) 会費：5千円

・理事と国体監督に呼びかけ。

(8) 平成18年度役員改選・理事選出について

・文書の配布予定

※埼玉岳連規約第18条 各山岳会は、役員改正年度の

3月1日までに、次期理事、評議員の氏名を報告する。

(9) 平成19年62国体・関東ブロック大会

・会場意向調査について福田理事長

・最後の縦走のある大会

「縦走Ⅱ小鹿野/クライミングⅡ加須」で提出。

(10) 各部からの報告等

①指導委員会

●氷雪技術講習会について1月28日・29日・那須

主任講師Ⅱ佐藤博ガイド・多数の参加をお願いします。

②国体委員会

●平成17年度(社)日本山岳協会競技部ブロック研

修会の参加募集中・1月16日締切

平成18年1月28日(土)～29日(日)

宇都宮市冒険活動センター宇都宮市篠井町1885の1

・日山協では、競技部(クライミング+国体+医科学+
a)が活動開始の予定。

③クライミング委員会

・全体の盛り上がり。大会以外の活動を。

④選手強化委員会

・国体で高点数をだしたので、強化費が増額。

ジュニアの養成関係

1月15日柴田氏のコーチ 越谷ミストラル

2月26日 午前中 木村理恵のコーチ 川口パンブ

⑤自然保護委員会

「リレー清掃登山」報告書の完成。(関係者に発送)

平成17年11月26日～27日・

日山協自然保護委員会 千葉・鴨川

⑥海外登山委員会

●12月3日・4日海外登山報告会兼忘年会(吉見町)

●12月17日・日山協海外女性懇談会(江東公会堂)

ゲストスピーカー 呉銀善(韓国)・谷口けい

⑦広報委員会

・記念誌の発送整理が終了次第、清算処理したい

・広報編集状況・今月中に編集終了し1月に発行予定

⑧事務局

・「アルピナ山岳会」連絡先変更↓事務局へ問合せ下さい

・幸手山岳会の事務所↓会長宅へ変更(広報誌等)

5：閉会挨拶(中田副会長)

6：その他

※次回の理事会・行事について

1月20日(金)午後7時～理事新年会：北本市・まつ本

2月14日(火)理事会・(変更)

【速報】アジアユース大会の結果報告

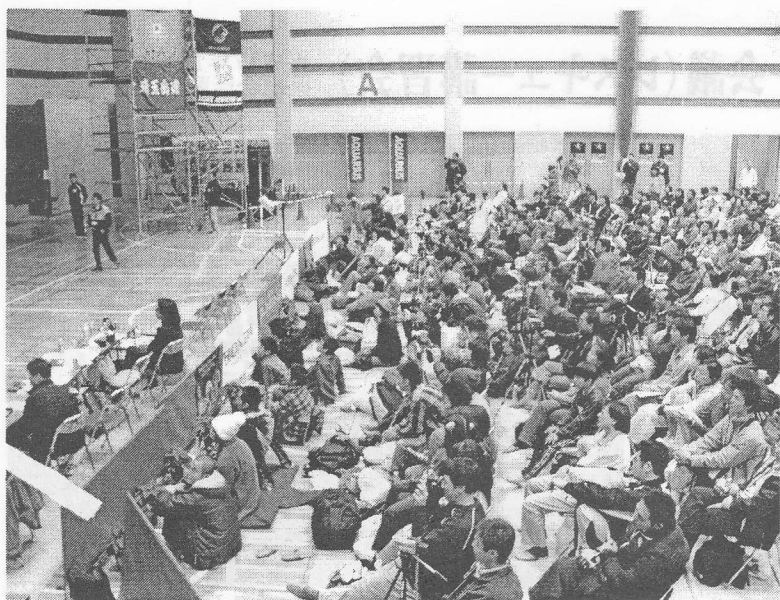
Asian Youth Championships 04/12/2006

Female youth A RESULTS

1. Noguchi Akiyo JPN

2. Momma Nozomi JPN

3. Guan Xiaolong CHN



観衆：2日間で述べ1,000人を超えたと思われる観衆、やり方によってはもっともっと増やせる・・・

HONDAジャパンカップ 開催

加須市民体育館 h17.11.5/6



全 景：スポットライト、MC、音響とイベント演出に惚りました



男子表彰：ユージと伸び盛り安間の戦い・・・世界のユージは健在、「さすが」以外に言葉が見つからない！

第19回ジャパンカップ

～男子～

4 3 2 1
・ 松島 立木 安間 平山
・ 島 孝 孝 山
・ 暁 明 千 ユー
人 人 ジ
8 7 6 5
・ 角田 柴田 佐々 茂
・ 田 朋 木 垣
大 広 悠 敬
樹 吉 太

～女子～

4 3 2 1
・ 榊原 氷見 木村 野
・ 祐 智 理 口
子 恵 恵 啓
代
8 7 6 5
・ 門間 遠藤 小林 梶
・ 希 由 真 山
美 加 秀 沙
里



女子表彰：新旧対決に勝ち抜いた野口、男子ファイナルのルートを使ったスーパーファイナルは素晴らしいパフォーマンスであった。

平成17年度 冬山リーダー会議(レスキュー講習会)

平成17年12月10日/11日
県総合活動センターにて



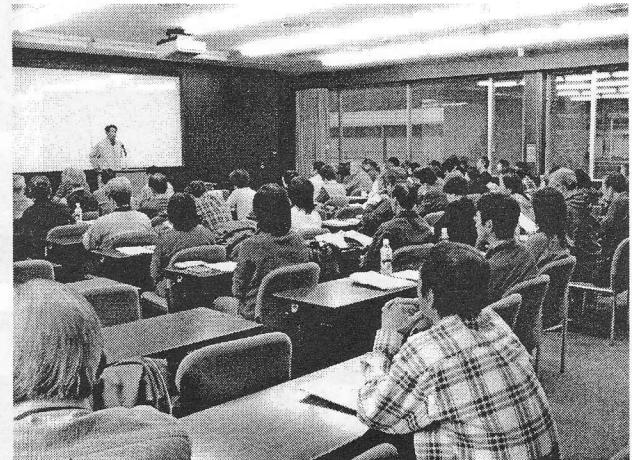
12月10日：県内各団体から50名が参加
救急法講習会が行われた。



瀬藤委員長から 山岳遭難時の対応についてレクチャーを受ける



救急法について模擬体験を通して応急手当の正しい方法を学ぶ 講師は恵先生



県警山岳救助隊・飯田副隊長の講義

【編集後書】

本年度最大のイベントでもある2005スポーツクライミングHONDAジャパンカップも満員の観衆をあつめて盛大に開催され、2週間後の50周年記念式典も多くの方々の支援を得て無事終了。関係者の皆様大変お疲れさまでした。
加須カップは評判通りに平山ユージ選手が優勝し、有終の美を飾った。

又年末恒例の遭対・委員会主催の冬山リーダー会議を救急法講習会にあて開催。恵講師の懇切丁寧な救急法に、真剣な態度で受講されていた会員や、埼玉県警・山岳救助隊の飯田副隊長の遭難実態の講義と、ユーモアあふれた自作遭難対策ビデオを公開し、山岳事故の防止に気持ちを新たにしました。

同日、県民体育大会が加須で開催。37名の選手が技を競い、若手選手が多数参加したとの報告に、先行きに明るい灯が見える。

閑話休題

年内発行予定の広報誌が的を絞られず、大半を50周年記念式典に当てたため、かなりの情報をお届けできずに残念に思います。県体報告・次号に予定。あと数日で、年末を迎えようとしており山積みの仕事と、年賀状の作成が年を越しそう。

来年は順当に広報発行をしたいと思っておりますが！

来年もどうぞ宜しくお願いします。

広報委員会・編集子 岩井田 正昭

戊年は寝て待つ朗報！

